

イスラエル経済月報（2020 年 4 月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 栗田 宗樹）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	5
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 金融政策（Monetary Policy）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	10
COVID-19/ベンチャー投資	新型コロナウイルスにもかかわらず、スタートアップの第1四半期の資金調達額は好調
COVID-19/スタートアップ	危機対応としてのレイオフ（一時解雇）が広がっている
COVID-19/スタートアップ	ハイテク産業の従業員の 62%が雇用に不安感
日本-イスラエル 経済関係.....	13
MAAS VIA	社がシリーズ E で 2 億ドル資金調達。森ビルも投資ラウンドに参加。
AT ANAGOG	社がシリーズ C で 1,000 万ドル資金調達。住友商事の CVC IN VENTURE がリード。
テュアルイス	チャータードグループとイスラエル国防省 MAFAT が連携。日本企業とイスラエル企業との連携を促進。
サイバーセキュリティ	SECRET DOUBLE OCTOPUS 社がシリーズ B で 1,500 万ドル資金調達。グローバル・ブレイン等も投資ラウンドに参加。
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	17
Update!スマートモビリティ	EcoMotion Week 2020（2020 年 5 月 18～21 日、オンライン）
バイオ	Mixiii BioMed（2020 年 9 月 7～9 日、テルアビブ）
日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定（目次掲載は主要なもののみ） ..	24
NEW COVID19	WEBINAR:コロナ禍におけるイスラエル企業との協業の可能性（2020 年 5 月 12 日、21 日、オンライン）

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1 日 イスラエルのライドシェアリング企業 Via Transportation 社がシリーズ E で 2 億ドル調達。イタリアの Exor 社がリードし、森ビルも参加。企業評価額は 22.5 億ドル。
- 1 日 財務省は史上初めてとなる 100 年債を年利 4.5% で発行し、10 億ドルを調達した。新型コロナウイルスに関連する経済対策費用等に充てる方針。
- 2 日 失業者が史上初めて 100 万人を突破。失業率は 24.4% に。9 割が無休休暇の人。
- 2 日 イノベーション庁が 6.5 億 NIS の予算割当てを受けた。助成金の申請は受け付けていたが、暫定政府のため年初から予算の割当てを受けられない状態が続いていた。
- 2 日 オンデバイス AI ソリューション企業 Anagog 社がシリーズ C で 1,000 万ドルを資金調達。住友商事の CVC IN Venture 等がリードし、独コンチネンタル社も参加。
- 2 日 イスラエルのホテル価格最適化企業 Hotelmize 社が、アリババ等をリード投資家とするシリーズ B の資金調達を完了。金額は非開示。
- 5 日 イスラエルスタートアップの第 1 四半期の資金調達額は 27.4 億ドルで、前年同期の 14.5 億ドルを上回った。
- 5 日 パレスチナ自治政府は、新型コロナウイルス拡大阻止のため、イスラエルからの物品の移入と販売を禁止。違反者には罰則が科される。
- 6 日 新型コロナウイルスの治療薬として、富士フイルムのアビガンの病院での試験投与を開始したとイスラエル外務省が発表。80 名の患者に投与される。
- 6 日 中央銀行は、政策金利を 0.15% 引き下げ、0.1% とすることを決定。加えて、0.1% の固定金利での銀行への期間 3 年の金融融資を新たに提供することと、金融機関による相対でのレポ取引実施を促すプランを拡大することを決定。また、2020 年はマイナス 5.3% 成長、2021 年は 8.7% 成長というリサーチ部門の予測も公表。
- 6 日 レボトに拠点を置く AID Genomics 社と北京の Beijing Genomics Institute 社は、3,000 件/日の PCR 検査を実施するためのラボをガザに開設することで提携したと発表。パレスチナ自治政府も承認している。
- 6 日 高等教育評議会は、新型コロナウイルスと闘うための研究に対する約 400 万ドルの支援策 KillCorona を発表。慈善団体とともに、5~20 万ドルの助成を支給。
- 7 日 イスラエルのデジタル聴診器企業 Tyto Care 社が Olive Tree Ventures 等から 5,000 万ドルを資金調達。同社の技術・サービスは遠隔診療に用いられる。
- 8 日 保健省と国防省は、北京の Beijing Genomics Institute 社と、10,000 件/日の PCR 検査を可能とする検査キットの供給契約を 9,000 万 NIS で締結。
- 9 日 英国-ギリシャ企業 Energean Oil and Gas 社は、イスラエル沿岸の北 Karish 天然ガス田の評価額を 32% 増加させた。同ガス田の総埋蔵量はガス 990 億 m³、原油 8,200 バレルとなる。
- 12 日 イノベーション庁は、新型コロナウイルスと闘う企業への助成の採択先を決定。35 社に対し約 600 万ドルを支給する。予算額は 1,300 万ドルで、追加採択予定。
- 12 日 匿名の情報筋によると、サン電子子会社のデジタルインテリジェンス企業 Cellebrite 社は、従業員 70 名を休暇とし全従業員の給与を 10% カットする方針。

- 12 日 公営企業庁は、新型コロナウイルスによって経営問題を抱える民間企業の国有化も選択肢として検討すべきとする報告書を財務省に提出。
- 12 日 教育省は、次年度に向け、遠隔教育の方法や必要な要件等に関する検討を開始。3 月に開始された遠隔教育は、準備不足や家庭での PC 不足等により頓挫状態。
- 13 日 イスラエルの消費者団体が、フライトのキャンセルの返金に応じない外国航空会社に対するクラスアクション訴訟を認めるよう裁判所に要望書を提出。
- 13 日 情報筋によると、イスラエルの複合企業 Elco Holdings 社と Leumi 銀行の投資部門が、ガソリンスタンドチェーン Delek Israel Fuel Corporation の買収を交渉中。
- 14 日 匿名の情報筋によると、テスラはイスラエルでのショールーム開設を延期。
- 15 日 イスラエルの行動生態認証企業 BioCatch 社がシリーズ C で 1.45 億ドルを調達。同社の技術は、金融機関を詐欺等の犯罪から守ることができる。
- 16 日 サン電子子会社のデジタルインテリジェンス企業 Cellebrite 社は、アジアの法執行機関と 3 年間 790 万ドルの契約を締結。国名は非公表。
- 16 日 IMF は、イスラエルの 2020 年の経済成長はマイナス 6.3%、年末の失業率は 12% になるとの予想を公表。2021 年は 5% 成長、失業率 7.6% を見込む。
- 16 日 代替タンパク質源としてのバッタ生産スタートアップ Hargol FoodTech 社が 300 万ドルを資金調達。2014 年創業。
- 17 日 イスラエル国防省研究開発部門 MAFAT とシンガポールのファンド Chartered Group がデュアルユース等について連携。日本企業との連携を促す。
- 19 日 イノベーション庁は、製薬技術と AI に重点を置いたデジタルヘルスのハブ設立の公募を開始。採択された海外企業は、5 年間で 3,200 万 NIS の支援を受けられる。
- 19 日 米国の PE 企業 Hellman & Friedman 社がイスラエルのサイバーセキュリティ企業 Checkmarx 社の買収を完了。評価額 11.5 億ドルで、TPG 社も少数株主となった。
- 19 日 Jewish Agency 会長は、新型コロナウイルスからの退避場所、世界的に高まっている反ユダヤ主義からの避難場所として、イスラエルへの移民が増加すると述べた。
- 20 日 ブリティッシュ・エアウェイズは 5 月 1 日から、ユナイテッド航空は 5 月 20 日から、カナダ航空は 6 月 1 日からテルアビブ便を再開することを発表。20 日 イスラエルの VC S Capital は、1.2 億ドルの VC ファンドを組成したと発表。LP の多くは米国の機関投資家。同 VC の運用資産は、これで 2.7 億ドルとなった。
- 20 日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Orchestra Group 社が 750 万ドルを調達。複数のサイバーセキュリティソリューションを統合・調和させる技術を有する。
- 20 日 イスラエルの非侵襲心臓弁治療企業 Pi-Cardia 社が 2,700 万ドルを資金調達。心臓弁膜症に対する埋め込み型でない治療法を開発している。
- 21 日 エル・アル航空が、中国からイスラエルを経由しイタリアまでの貨物便 150 便を 10 月まで運航する契約を独の物流大手 Kuehne + Nagel International 社と締結。平時のエル・アル航空貨物便の 10% 弱。新型コロナウイルス関連物資等を運搬する。
- 21 日 新型コロナウイルスによる経済危機対応として、中央銀行は、無給休暇を言い渡された人向けの不動産ローンの要件緩和と住宅確保のための借入の要件緩和を公表。
- 21 日 テルアビブと NY に拠点を置く AI スタートアップ MyndYou 社が、シリーズ A で 400 万ドルを資金調達。また、米国の介護提供者の協会とも提携を発表。

- 21 日 カナダ・モントリオールの病院が、テルアビブに拠点を置く AI スタートアップ Binah AI 社のバイタルサイン・モニタリング技術を使用する。同社が発表。
- 22 日 イノベーション庁は、経済対策パッケージの一環として、5 億 NIS の即時資金注入を発表。長期的には成長が見込めるものの短期的な資金難にある中小企業を支援。申請から 4 週間以内に採択の可否が決定される。
- 22 日 イスラエルのワクチン開発機関 Migal Galilee Research Institute の子会社で新型コロナウイルスワクチンを開発する MigVax Corp 社が 1,200 万ドルを資金調達。
- 22 日 イスラエルの遠隔医療企業 ARHealth 社が 700 万ドルを資金調達。同社は全米で遠隔診療を提供する VR 診療所事業を運営しており、ほとんどの保険でカバー済み。
- 23 日 Fitch はイスラエルの長期発行体デフォルト格付 (IDR) を A+, アウトルックは「安定」とした。2021 年の経済回復を見込むものの、財政規律の緩みを懸念。
- 23 日 ヒュンダイが、光調整ガラスを製造するイスラエルのナノテクスタートアップ Gauzy 社に投資。1,000 万ドルのシリーズ C の資金調達でリードを務めた。
- 23 日 イスラエルの代替タンパク質スタートアップ InnovoPro 社が 1,500 万ドルを調達。同社は ClearFarma Industries 社と共同でひよこ豆からタンパク質と澱粉を抽出する。
- 24 日 経営難のイスラエルの航空会社に関し、イスラエル旅行業協会会長は、政府の支援を受ける前にキャンセルとなった航空代を返金すべきと主張。一方、政府は返金期限を延長する法改正を議会に提出。エル・アル航空については、融資を検討中の銀行が事業の縮小を求めている、同社は航空機 3 機の売却に向けた MOU を海外企業と締結。融資への政府保証を検討する財務省を含め、交渉・調整が続いている。
- 26 日 中央統計局の発表によると、イスラエルの人口が 919 万人に達した。
- 26 日 財務省の予測によると、イスラエルの今年の財政赤字は対 GDP 比 11% となり、OECD3 番目となる。累積赤字の対 GDP 比は OECD 平均を下回る。
- 27 日 イスラエルの顔認証企業 Corsight 社がシードラウンドで 500 万ドル資金調達。マスクをしても顔認証が可能。同社はテルアビブの AI 企業 Cortica 社の子会社。
- 27 日 イスラエルの AI スタートアップ Codota Dot Com 社がシリーズ A で 1,200 万ドル資金調達。エンジニアに対し自動的にコードを生成して提案する技術を有する。
- 28 日 Calcalist 紙は、最も期待できるイスラエルスタートアップ 50 社を選出。毎年この時期に行われている企画だが、今年はコロナ禍でも生き残れる企業が選ばれた。
- 28 日 テルアビブに拠点を置くデジタル顕微鏡企業 Scpio Labs 社がシリーズ B で 1,600 万ドルを資金調達。2015 年に設立され、AI に基づく分析技術を開発する。
- 30 日 イノベーション庁と欧州投資銀行(EIB)は、バイオ・コンバージェンス分野における投資機会追求のための MOU を締結したと発表。
- 30 日 イスラエルの自動車関連情報プラットフォーム企業 Otonomo Technologies 社がシリーズ C で 4,600 万ドルを資金調達。韓国 SK Holdings 社等がリード。
- 30 日 イスラエルのパスワードレス認証企業 Secret Double Octopus 社がシリーズ B で 1,500 万ドルを調達。グローバル・ブレイン、ソニーと KDDI の CVC 等が出資。
- 30 日 イスラエル財務省によると、イスラエル政府はドル建て 40 年債 50 億ドルをアジア市場で調達した。年利は 3.8%。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

- 財務省は、2019年第4四半期の成長率は年率4.6%、2019年全体では3.5%成長（三次推計）

中央統計局は、2019年第4四半期の成長率（三次推計）が年率4.6%だったと発表した。二次推計4.2%から上方修正。2019年全体では3.5%成長となった。

個人消費と固定資産投資が成長を牽引したほか、自動車輸入（による税収増）や公共支出の増加、財・サービスの輸出も増加した。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/108/08_20_10_8b.pdf)

Trading Economics (<https://tradingeconomics.com/israel/gdp-growth-annualized>)

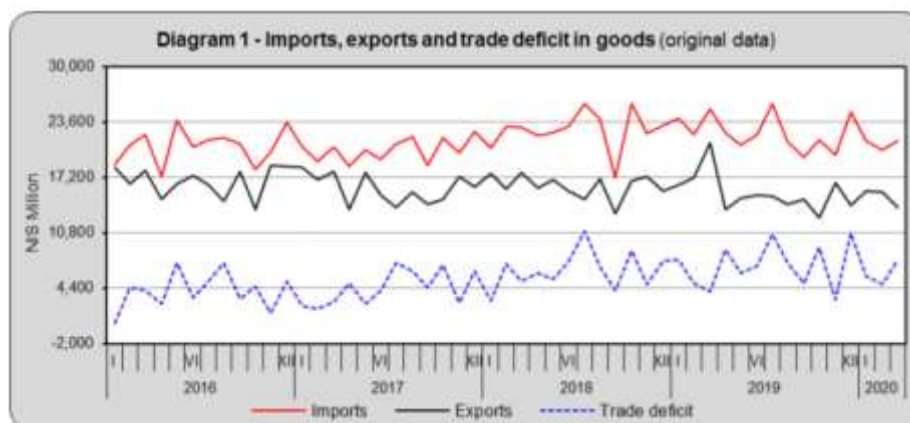
2. 貿易（EXPORT & IMPORT OF GOODS）

- 3月の貿易赤字は77億NIS

中央統計局の発表によれば、2020年3月の物品輸入は215億NIS、物品輸出は137億NISであり、貿易赤字は77億NISであった。

物品輸入の46%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、23%が消費財、16%が機械装置、陸上輸送機であった。残り15%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

鉱工業製品の輸出（ダイヤ除く）は直前3カ月間で年率13.5%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の88%を占め、9%がダイヤモンド、残り3%が農林水産品であった。工業製品輸出のうち42%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率17.9%減少した。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/103/16_20_1_03e.pdf)

3. 失業率 (UNEMPLOYMENT RATE)

- 3月の失業率は3.4%だが、被用者のうち一部でも休職している者の割合は43.0%にのぼる。

中央統計局は、2020年3月の失業率は3.4%であり、前月比0.1%増だったと発表。

労働参加率は62.7%で、前月比0.1%減。

2020年3月の15才以上人口における労働人口は412.7万人、うち被雇用者数は398.6万人（男性206.8万人、女性191.8万人）となった。

中央統計局の定義では、失業者に「休職者」は含まれない。2020年3月、「休職者」（被用者のうち、一時的に仕事がない（週のうち全部又は一部の双方を含む）人）は893,700人で、被用者全体の43.0%を占める（2月には10.1%であった）。

特に休職者の割合が大きい業種は、芸術・娯楽・レクリエーション（66.1%）、教育（64.0%）、宿泊業・飲食業（60.5%）、その他サービス業（53.8%）、電気供給業（52.0%）である。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/DocLib/2020/116/20_20_116e.pdf)



4. 消費者物価指数 (CPI)

- 3月期のCPIは0.4%上昇

中央統計局の14日の発表によれば、2020年3月期の消費者物価指数は0.4%上昇。

特に価格上昇が著しかった製品は、被服・履物（3.2%高）、生果物（1.8%高）、住居費（0.9%高）、食品（0.6%高）。一方、価格下落が著しかった製品は、生野菜（1.9%低）。

過去12か月間では変化なし。年初からだと0.1%下落で、イスラエル中央銀行が年間のターゲットレンジとしている1%～3%を下回る。

中央統計局は、2020年1-2月期の住宅価格指数も公表。2019年12月-2020年1月期に比べて0.6%上昇した。前年同期比では3.9%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局 (https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/107/10_20_107e.pdf)

(https://www.cbs.gov.il/he/mediarelease/Madad/DocLib/2020/106/10_20_106e.pdf)

5. 政策金利（INTEREST RATE）

● 中銀、政策金利を 0.25%で維持

4月6日、イスラエル中央銀行政策決定会合は、政策金利を 0.15%引き下げ、0.1%とすることを決定。加えて、政策決定会合は、2つの追加的措置をとることを決定した。

①新たな手段を実行に移す：0.1%の固定金利による銀行に対する期間3年の金融融資の提供。この融資は、小規模・零細事業者への与信拡大を条件とする。

②金融機関による相対でのレポ取引実施を促すプランの拡大。これにより、有価証券として（政府債に加え）社債を取引対象に加えることができるようになる。この措置により、同プランによる流動性支援と金融市場の秩序ある機能が強化される。

これらの措置に対する中銀による声明の要旨は以下のとおり。

新型コロナウイルス危機によって成長傾向が止まり、経済は後退局面に入った。経済活動の3分の1以上が閉鎖され、危機前と比べて個人消費は約25%減少しており、約100万人の労働者、労働人口の24%が失業手当の受給申請をしている。

中央銀行リサーチ部門の評価によれば、第1四半期にGDPは約5%（四半期ベース）後退した。新型コロナウイルスによる主要な制限が6月末までに段階的に取り払われると仮定した同部門のマクロ経済予測に基づけば、2020年には約5%のマイナス成長と6%の失業率（年平均）が予測される。第3四半期に回復が始まり、2021年には9%成長になることが見込まれるが、失業率は徐々にしか落ちていかず、危機前の水準に戻るのには2021年末にかけてにすぎない。対GDP比での債務は2020年に約75%に達すると見込まれる。ただし、これらの予測には非常に大きな不確実性が伴うことに留意が必要である。というのも、危機の長さや大きさが不透明であるためである。

世界の経済成長は2020年には著しく後退すると見込まれ、危機の拡散は各国の中央銀行と政府による強い政策的反応を引き起こしている。商品価格は数十パーセント下落している。中国では、経済活動の回復が見られ始めている。

危機はイスラエル内外の資本市場におけるショックにつながっており、株価は深刻な下落を見せ、ボラティリティとリスクが増加している。イスラエルでは、政府債のイールドと社債のスプレッドの急激な上昇は、イスラエル中央銀行がとった措置及び投資信託の資金引上げがやんだことでとまっている。

イスラエル内外におけるドルの流動性不足を背景に、為替相場においては異常なボラティリティが見られる。イスラエル中央銀行が実施したスワップ取引はボラティリティを抑え、最終的には、シェケルは対ドルで5.8%安、実行為替レートでは3.4%安となった。

物価上昇環境は、危機前から低調で、危機によって一層低調となった。1年間の物価予測はさらに下がっているが、長期での予測は引き続き安定している。短期的には、物価上昇率の計測は難しいだろう。

経済活動に対する危機の負の影響の大きさを考慮すると、政策決定会合は、金融政策の緩和幅を拡大し、金融市場の秩序ある機能を維持するために、幅広い手段を活用することにする。政策決定会合は、危機が継続し、金融政策の目標を達成するために危機の結果創出された経済への負の影響を中和するために必要な限り、政策金利を含む既存の手段の活用を拡大するとともに、追加的措置を実行に移すことができるようにする。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は5月25日。

出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/6-4-2020a.aspx>)

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 中央銀行による利下げや為替介入にもかかわらず、シェケル高基調はやまず

4月上旬にイスラエル中央銀行が利下げを行ったにもかかわらず、為替相場は4月を通じてシェケル高が進行。

下旬に入ると、組閣の見通しが立ったことと経済封鎖の緩和を受け、さらにシェケル高が進行。新型コロナウイルスによる危機前の3月上旬以前のシェケル高水準となった。月末には中央銀行による外貨購入が再開されたが、シェケル安に転じることはなかった。

出典：報道・グローブス紙

(<http://www.globes.co.il/en/market.tag>)

グラフ出典：中央銀行・4月のドルシェケル相場推移

(<https://www.boi.org.il/en/Markets/ExchangeRates/Pages/Chart.aspx?CurrencyId=3&DateStart=01%2F04%2F2020&DateEnd=30%2F04%2F2020>)



6. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● イスラエルの外貨準備高は前月比 51 億ドル減の 1260 億ドル

中央銀行による発表によれば、2020 年 3 月末時点の外貨準備高は、前月比 51 億ドル減となる 1260 億ドルであった。現在、外貨準備高は GDP の 31.9% を占める。

減少の要因は、金融機関への短期のドル信用供与 (75.00 億ドル)、評価替 (23.28 億ドル)。他方、民間移転 (23.21 億ドル)、中銀による外貨購入 (9.74 億ドル)、政府移転 (14.08 億ドル) による準備高の増加も生じている。

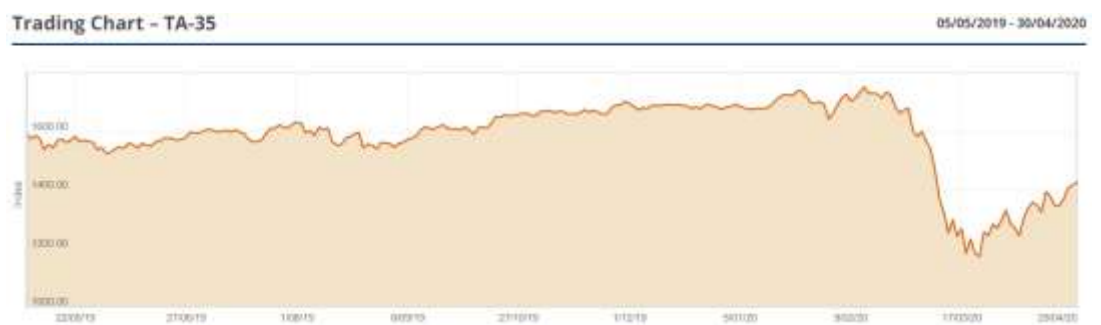
出典：イスラエル中央銀行 (<https://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/7-4-20.aspx>)

7. 主要株価推移（TA35）

● 月間推移



● 年間推移



イスラエル経済関係記事

COVID-19/ベンチャー投資 新型コロナウイルスにもかかわらず、スタートアップの第1四半期の資金調達額は好調

新型コロナウイルス危機は世界経済を芯まで震えさせているかもしれないが、イスラエルのハイテクは四半期の記録を更新する勢いを保っている。テルアビブに拠点を置くリサーチ企業 IVC Research Center 社とイスラエルの国際法律事務所 Zysman, Aharoni, Gayer & Co. (ZAG-S&W)が発表したレポートによると、イスラエルのハイテク企業は2020年第1四半期に139件27.4億ドルの記録的資金調達を行った。

新型コロナウイルスの悪影響は第2四半期以降に感じられるようになる可能性があるが、イスラエルのハイテク企業は、第1四半期は2019年同期と比べて76%も多く資金調達を行った。ライドシェア企業 Via Transportation 社の4億ドルというメガ資金調達を除いても、138件23.6億ドルという2019年同期とほぼ同額となる。全体の金額は新記録を打ち立てたが、新型コロナウイルスによる下落は既に感じる事ができる。シードラウンドをみると、1月に20件あったのに比べ、2月はわずか4件だけである。

「2020年第1四半期の結果は2019年の状況の続きであり、今年後半にみることになるだろう傾向を示唆するものではない」と語るのは、IVC Research Center 社 CEO の Guy Holtzman 氏。「イスラエルハイテクの強さが今年試されることになる。現在のイスラエルハイテク産業は前回の金融危機のそれとは全く異なっており、多くの企業が苦しみことになったとしても、イスラエル全体としてみればこの危機を乗り越えることができるだけの強さを身につけている。長期で見れば、今回の危機によって、国内外の企業や機関投資家、VC などにとって、購入や投資に関与する機会は増えるだろう。」

同レポートによれば、今年第1四半期の資金調達のうち、VC による投資が89%を占め、23.4億ドルという新記録となった。件数も84件で全体の60%を占める。しかし、3月はたった17件で、1～2月に比較すると50%減となった。イスラエルのVCによる投資額は2.01億ドルで、全体のわずか7%である。2019年第4四半期にイスラエルVCが2.79億ドル投資していたことと比較すると、劇的に減少している。

2020年第1四半期の調達額の大半をメガディールが占めており、5,000万ドル超の投資が11件計15億ドルあり、全体の55%を占めている。500～2,000万ドルの投資は43件で、前期比12%減。1億ドル超のディールは6件で、Via社を含めたそのうち4件が3月に発表されている。

「3月の最初の2週間は、市場が軋みながら停止してしまった。投資家はそれぞれ様々な交渉段階にあったが、そのほとんどがシンプルに交渉を取り消してしまった。」ZAG-S&W のファウンダーの一人 Shmuel Zysman 氏は述べる。「雨が降ると、どんなに頑張っても濡れてしまう。ハイテク産業がコロナウィルスの影響から逃れられないことは今や明らかだ。残念ながら、2020年第2四半期の資金調達額は我々が近年慣れ親しんだ数字からはほど遠いものとなることは明らかである。光明は中国の復活である。一方で、米国は疫学的なピークをまだ迎えておらず、このことが短期的にはイスラエルのハイテクに予期せぬ

影響を与えることは確かであると思える。」

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3806177,00.html>)

COVID-19/スタートアップ 危機対応としてのレイオフ（一時解雇）が広がっている

ほとんどの企業は、これまでは従業員の賃金カットや福利厚生の減少のような穏便なやり方だけで済んできたが、ここ数週間をみていると、大規模なレイオフを含むより劇的な措置に移行してきているようである。米国の大小のテクノロジー企業が（イスラエルで）数百人のレイオフを行うというニュースを毎日のように目にする。3月だけで、4,000人のテクノロジー労働者が解雇された。

パンデミックがビジネスと投資の機会を直接吹き飛ばしていることに加え、この機に乗じて、パフォーマンスが悪い等の理由で以前からまな板の上に乗っていた従業員を降格させたり解雇したりする企業もある。

投資家と経営者による危機への短期的対応は、活動を停止することである。イスラエルにおける多くの投資家と同様、Sequoia Internationalのようなファンドも、企業に対して最悪の事態に対する備えをするように助言している。Sequoia Internationalは、今回のパンデミックはエコシステム全体を変容させるブラック・スワンであると評価している。

世界的な新型コロナウイルスの蔓延による大混乱を、企業は自分ではコントロールしようがないと感じている。多くの企業が、先を急ぐように、従業員を無給休暇とし、給与を20%カットし、イノベーション業界において労働者が享受していた特典をフリーズさせている。こうした突然の事業停止や急ぎ足での第一ステップの大部分は、過去の危機を経験している投資ファンド又は問題を間近で目撃した上級経営層によって主導された。

最初に打撃を受けたのは各種の旅行会社で、急いで労働者を休暇とし、レイオフを言い渡すこともあった。イスラエルに拠点を置く企業で言えば、Guesty社やBookaway社である。

現在のところ最も大規模なレイオフは、Zerto社によるものである。同社は、数回に分けて数十人ずつ解雇し、その総計は200名に及ぶ。解雇された従業員の多くは、イスラエルにある開発部門で働いていた。イスラエルや米国のカスタマーサービス部門の従業員も解雇されている。雇用契約の終了は4月初頭から始まって、現在も続いている。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3809879,00.html>)

COVID-19/スタートアップ ハイテク産業の従業員の 62%が雇用 に不安感

世界的なエグゼクティブの採用とコンサルティング企業 Kroll Consulting 社がイスラエルのハイテクエコシステムで働くイスラエル人従業員に行った最近の調査では、約 3 分の 2、正確には 62%が、自分の雇用維持への新型コロナウイルスによる影響を懸念している。30%近くが、自分が働く企業で既にレイオフが実施されていると回答しており、また 60%が今後数か月以内にさらなるレイオフが見込まれると述べている。同調査は 4 月 14～20 日に実施され、300 人のイスラエルハイテク従業員から回答が集められた。

同調査によると、最も懸念が大きかったのは従業員 50～100 人のスタートアップである。また、回答者の約 80%が、会社がレイオフを避けることができるように全従業員に対する 15%の給料カットを受け入れると回答している。同調査によると、既に報告されている給与カットのほとんどは、15～20%の範囲にある。さらに 14%が、コロナ危機のせいで今年後半には給与カットの必要があるかもしれないと経営陣から既に言われていると回答している。

しかしながら、イスラエルのハイテク従業員のなんと 91%が、自分の会社にはこの危機を乗り切る正しい判断ができるリーダーシップとチームワークがあると自信を持っており、しかも 73%が「とても自信がある」又は「きわめて強く自信がある」と回答しているのだ。回答者の 70%が、自分の会社はパンデミックを克服し、ほぼ確実に今年の売上目標を達成できる又はほんの少し目標から外れるだけだと自信を持っている。自分の会社がコロナ危機によって大きな財政的損害を受ける懸念があると感じているのは、わずか 7%であった。

Kroll Consulting 社 CEO の Ronit Kroll 氏によれば、この調査結果は、イスラエルのハイテク産業における従業員とリーダーとの間の高いレベルの信頼関係と効果的なコミュニケーションとを示唆しており、また新型コロナウイルスに関連した困難に対する企業の長期的な強靱性を示している。同氏によれば、ハイテク産業の従業員は、危機の解決に対して能動的に関わっていく高いモチベーションを見せており、レイオフを避けるために個人の給与を減額してもよいという高いレベルでの社会的連帯を示している。

出典：報道 CTech by Calcalist

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3810355,00.html>)

日イスラエル経済関係記事

MAAS VIA 社がシリーズ E で 2 億ドル資金調達。森ビルも投資ラウンドに参加。

ライドシェアリング企業 Via Transportation 社がイタリア企業 Exor 社のリードによりシリーズ E で 2 億ドルを資金調達したと発表。情報筋が匿名で明かしたところによると、シリーズ E はこれで 4 億ドルの投資ラウンドとなり、企業評価額は 22.5 億ドルとなった。

シリーズ E には、Exor 社のほかに、Shell Ventures, Macquarie Capital, 森ビルが新たに参加した。また、既存投資家である Hearst Ventures, Ervington Investments, 83 North Ventures, Planven Ventures, Broadscale Group, Pitango Venture Capital, RiverPark Ventures が参加した。

Via 社は 2012 年に設立され、世界 12 か国以上 90 か所以上で輸送サービスを展開している。オンデマンドシャトルからライドシェアリングまで、地域ごとに様々なサービスを提供している。Pitchbook のデータによれば、これで現在までの累計調達額は 7.87 億ドルとなる。昨年 4 月には伊藤忠商事も出資している。

出典：報道 CTech by Calcalist, TechCrunch

(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3804970,00.html>)

(<https://techcrunch.com/2020/03/31/on-demand-shuttle-startup-via-hits-2-25-billion-valuation-on-latest-funding-round-led-by-exor/>)

AI ANAGOG 社がシリーズ C で 1,000 万ドル資金調達。住友商事の CVC IN VENTURE がリード。

オンデバイス AI ソリューション企業 Anagog 社は、シリーズ C でイニシャルとなる 1,000 万ドルを資金調達した。資金調達ラウンドは、住友商事のイスラエルにおける CVC IN Venture と既存投資家である VC MizMaa がリードし、独の自動車部品コンチネンタル社も参加した

Anagog 社 CEO Ofer Tziperman 氏は述べる。「世界的に困難なこの時期にあって、我々は、企業が顧客を理解する方法を革新し、また物理的世界における行動に基づいて超パーソナライズされた経験をもたらし続ける。今回の新たな投資は、我々のケイパビリティと将来の技術提供を高める上で重要な役割を果たす。当社はパーソナライズ化のケイパビリティを改良し、「エッジ AI」におけるリーダーとしての当社のポジションを強化することを意図しており、今回の資金調達によってそれは容易になるだろう。投資家の支援により、当社は、企業が世界中の顧客にリーチし、繋がり、そして意味のある関係を構築する方法を、シームレスな顧客体験と強靱なプレイバシーを提供することで変えていく。」

IN Venture マネージング・パートナーの Eitan Naor 氏は述べる。「Anagog 社にはレ例外的なディープ・テクノロジーと経験あるチームがある。エッジ AI と超パーソナライズ化、そして厳格なプライバシーの組み合わせは、複数のキー領域におけるゲームチェンジャーとなることを信じている。我々は、Anagog 社がマーケット・リーダーとなるとともに、世界中の百万人という人々の生活に影響を与えることを助けるために、今回の投資に加わった。」

コンチネンタルの VC のインベストメント・パートナーの Rouven Spinner 氏は述べる。「Anagog 社は、最先端のテクノロジーと高度な才能と経験を持つチーム、そしてエンド・カスタマーの経験を革新し高度化する有力なエッジ AI のソリューションのユニークな組み合わせを有している。我々は、よりデータ・ドリブンかつデータに基づくモビリティ・サービスを創出するという我々の目標を追求していく。」

MizMaa Ventures のマネージング・パートナーの Issac Applbaum 氏は述べる。「世界的なプライバシー規制の津波を前提として考えると、プレイバシー・バイ・デザインのソリューションを採用しないビジネスは競争力を持たないだろう。そして、Anagog 社は、そうしたディープテックのソリューションを提供する準備ができています。」

今回のシリーズ C 投資は、Anagog 社は世界販売と流通能力を強化するとともに、今後数か月以内に明らかになる複数の新たな製品イノベーションを含めたコアとなる研究開発チームの活動のために用いられる。業界が先行きの不明確な変化にとらわれている今だからこそ、こうした新たな活動は、現在の危機の後にあらわれるリアルタイムかつリアルワールドでのカスタマー・インサイトを正確に把握するために必要となるミッシングリンクとなるだろう。同時に、このことによって、ユニークで高度なユーザー体験を創出するより豊かでコンテクスチュアルなサービスの提供が可能となる。そのことは、Analog 社が競争を脱し、企業がコアとなるオーディエンスにリーチして繋がるための破壊的方法の触媒として機能するために極めて重要であるだろう。

出典：報道 プレスリリース

[\(https://www.anagog.com/project/anagog-raises-10m-in-series-c-funding-round/\)](https://www.anagog.com/project/anagog-raises-10m-in-series-c-funding-round/)

デュアルユース チャータードグループとイスラエル国防省 MAFAT が連携。日本企業とイスラエル企業との連携を促進。

世界で最も先進的かつ革新的な防衛技術組織の一つであるイスラエル国防省研究開発局（DDR&D、別名「MAFAT」）とプライベートエクイティ企業チャータードグループ、（本社：シンガポール）は、人間の能力強化、フォトニクス、高度なエネルギー開発及び自律システムなど、ディープテック分野におけるデュアルユース（軍民両用）技術の開発支援に初めて乗り出す。

イスラエルは先進技術における世界的リーダーとして認識されており、日本企業によるイスラエルへの投資は近年急増している。イスラエルのスタートアップ企業やイノベーションを模索する日本を代表する企業が増加の一途をたどるなか、日本企業が他の方法では知り得ない技術にアクセスできる手段を構築する必要があった。

チャータードグループは、デュアルユース技術の開発企業とのコラボレーションや、投資の強化に向け、MAFAT に協力を要請した。コラボレーションを通じて、技術開発リスクの大幅な低下、また民間セクターにおける開発技術の活用により、MAFAT はイスラエルの国防システムに利用できる技術ソリューションの強化が実現できる。このようなコラボレーションの実例としては、InnerEye 社（人間の知能と人工知能を組み合わせるシステムおよびソリューションを開発する企業）へのチャータードグループからの投資があげられる。

チャータードグループは、シンガポール籍ファンド「Japan Israel High Tech Ventures 2 LP（「JIHTV2」）」を設定し、主としてイスラエル関連のテクノロジー企業に対するエクイティおよびエクイティ関連の投資を行う。JIHTV2 の募集金額は5億ドルを目標とする。本ファンドは、イスラエルのスタートアップ企業と日本企業間の協働、共同投資、および日本企業の育成を促進する。チャータードグループの会長であるエヤル・アグモニ氏は、次のように述べている。「この新しいファンドによって、日本の企業が通常はアクセスできない多くの新技術へのアクセスが可能となる。日本企業への投資及び育成により、市場投入までの時間を大幅に短縮し、また、MAFAT とのコラボレーションにより、投資先企業がより早く市場参入を果たし、イグジットの実現の可能性が高くなることを願っている。」

MAFAT と JIHTV2 は、デュアルユース技術への投資調査や分析に資する共同取組の一環として計5,000万米ドルを割り当てる。このファンドによって開発される主要なデュアルユース技術は次のとおり。

1. 人間機能のスーパーユーザー強化：ブレイン・マシン・インターフェース、パワードスーツ、高度センサー、人間監視システム
2. エネルギー：高密度エネルギー電池、リモート充電、ハイブリッドソリューション、高出力レーザー
3. 自律システム：地上ロボティクス、自律アルゴリズム、飛行概念

MAFAT の責任者であるダニエル・ゴールド博士は、次のように述べている。「我々は、チャータードグループとのコラボレーションは、デュアルユースのディープテックにおける研究開発を拡大する大きな機会ととらえており、イスラエルと日本の両国の利益につながると考えている。日本市場との相互作用を促進し、政府間の大規模なプロジェクトにつながる実りあるコラボレーションを展開したいと考えている。」

コラボレーションを主導する MAFAT の最高技術責任者であるドブ・オスター氏は、次のように述べている。「チャータードグループによる投資資本と、日本の優良企業との戦略的パートナーシップにより、イスラエルの防衛およびデュアルユース技術のイノベーションは、大いに強化される。このコラボレーションに関連する主な技術分野は、極めて重要な分野であると見なされており、防衛市場ならびに民間市場の両方において驚異的な成長が見込まれている。」

出典：プレスリリース (<https://charterdgroup.com/wp-content/uploads/2020/04/chartered-group-mafat-japanese.pdf>)

**サイバーセキュリティ SECRET DOUBLE OCTOPUS 社がシリーズ B で
1,500 万ドル資金調達。グローバル・ブレイン等も投資ラウンドに参加。**

いずれもグローバル・ブレインが運営するグローバル・ブレイン 7 号投資事業有限責任組合、KDDI Open Innovation Fund 3 号及び SFV・GB 投資事業有限責任組合（ソニーファイナンスベンチャーズが LP）は、イスラエルを拠点とするエンタープライズ・パスワードレス認証のパイオニアである Secret Double Octopus 社に出資を行った。

今回の投資ラウンドはシリーズ B で 1,500 万ドル。ラウンドには、既存投資家である Jerusalem Venture Partners, Benhamou Global Ventures, Iris Capital, Liberty Media Corporation, 投資家 Yaniv Tal 氏も加わった。Start-Up Nation Central.によると、累計資金調達額は 2,250 万ドルとなった。

2015 年設立の Secret Double Octopus 社のソリューションは、リモートやオフィスといった働く環境を問わず、パスワードを用いることなく、社内システムにログインすることを可能にする。特に現在、多く企業の従業員がセキュアでない WIFI 経由や個人の端末経由で社内ネットワークやシステムにアクセスするようになっているため、企業は早急により高度かつ、セキュアに社内ネットワークにアクセスするための仕組みを導入する必要性が高まってきている。さらに、パスワードレス認証を導入することで、社内ヘルプデスクやパスワード管理のコストを格段に減らすことも可能になる。

出典：プレスリリース, 報道 CTech by Calcalist
(<https://globalbrains.com/posts/invested-in-sdo>)
(<https://www.calcalistech.com/ctech/articles/0,7340,L-3813870,00.html>)

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトをご覧ください。

※3月4日、新型コロナウイルス対策として、イスラエル国内における国際会議を禁止する旨がイスラエル政府より発表されました。このため、今後、開催中止・規模縮小が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※3月12日より、イスラエル政府の措置により、外国人のイスラエルへの入国については、生活の拠点がイスラエルにあり、イスラエルにおいて自宅検疫（隔離）措置を取ることができることを証明できた場合に限り、入国が許可されます。当該証明は、申請者の滞在地における代表事務所（大使館等）に申請ください。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館 HP・イスラエル保健省 HP 等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzen_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

スマートモビリティ ECOMOTION WEEK 2020（2020年5月18～21日、オンライン）

非営利シンクタンクである Israel Innovation Institute と、首相府の取組である「Fuel Choices and Smart Mobility Initiative」、経済産業省が連携した事業である EcoMotion の年次イベント。19日にはバーチャルイベントが開催。

<https://www.ecomotionweek.com/>

スタートアップ° SILICONNEGEV ENTREPRENEUSHIP FESTIVAL （2020年5月21日、ベルシェバ）

イスラエルの「サイバーキャピタル」として、サイバーセキュリティ以外の分野でもスタートアップ等のハブとして年々成長を遂げつつあるイスラエル南部の都市ベルシェバで開催されるスタートアップのコンペティション。

<https://www.siliconegev.com/>

AI FUTURE OF AI (2020 年 6 月 9~10 日 (暫定), テルアビブ)

AI に関する国際カンファレンス・展示会。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、今回 4 回目の開催で、うち 1 回はベルリンで開催。1,500 人の参加者、300 社以上のスタートアップ、500 件以上の B2B ミーティングを見込む。

<https://www.futureofai.com/>

SAAS SAAS TIGER (2020 年 6 月 9~10 日, テルアビブ)

SaaS 分野における成長を目指し、関係する営業、製品開発、投資、ベンダー等を巻き込んだ包括的なイベント。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、700 人の参加を見込む。

<https://www.saastiger.com/>

HR INNOV8 WORK (2020 年 6 月 9~10 日, テルアビブ)

HR 及び未来の働き方に関するイベント。今回第 2 回開催。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催し、1,000 人の参加を見込む。

<https://www.innov8work.com/>

REACT REACT NEXT 2020 (2020 年 6 月 15 日, テルアビブ)

JavaScript のフレームワークである React に関するイベント。React Native, Redux, MobX 等について議論する。React の初心者も上級者も対象とする。750 名の参加者を見込む。

<https://react-next.com/>

時期変更！オンライン開催！フィンテック INSURTECH NEXT (2020 年 6 月 24 日, オンライン)

インシュアテック（保険テック）に関するカンファレンス。B2B ミーティングも予定されており、スタートアップコンペティションも開催される。メディア及びイベント企画の People & Computer が主催。

<https://www.insurtechnext.com/>

バイオ MIXIII BIOMED (2020 年 9 月 7～9 日, テルアビブ)

ヘルスケアやライフサイエンスの将来について議論する国際会議・展示会。今年は長寿命の中での QOL をテーマに, 医療機器, バイオフィーマ, デジタルヘルス, 診断分野にフォーカスする。

<https://kenes-exhibitions.com/biomed/>

半導体 CHIPEX2020 (2020 年 9 月 15～16 日, テルアビブ)

イスラエルの半導体産業の年次イベント。イスラエルのハイテクに関するメディアである Advanced System Group が Semiconductor Industry Association の協力を得て主催。ベンダーによる展示, 技術的なカンファレンス, エグゼクティブ・サミットの 3 本柱から構成される。

<http://www.explace.co.il/?CategoryID=1043>

電機 RAX (2020 年 10 月 13～15 日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が 26 回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

ナノテク NANO.IL.2020 (2020 年 10 月 13～15 日, エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル, エレクトロニクス, 光学, 医療, 防衛, 航空, 半導体等の分野を対象に, 企業, 投資家, 大学等からの参加者を想定している。

<https://www.nanoilconf.com/>

技術移転 THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION (2020 年 10 月 19 日, テルアビブ)

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

医療機器**THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT (2020 年 10 月 19 日, テルアビブ)**

医療機器（ハードウェア及びソフトウェア）に特化したカンファレンス。今回は、最先端の R&D の方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

マシンビジョン**ISRAEL MACHINE VISION CONFERENCE (IMVC)**

2020 (2020 年 10 月 29 日, テルアビブ)

マシンビジョンに関するカンファレンス。自動車, 防衛, 医療機器, 印刷, ゲーム産業等のアルゴリズム開発者, データサイエンティスト, エンジニア, プログラマー等の参加を想定している。今回 11 回目の開催。

<https://www.imvc.co.il/>

ヘルスケア**GLOBAL WELLNESS SUMMIT 2020 (2020 年 11 月 10～13 日, テルアビブ)**

健康産業に関する大規模カンファレンスで, 世界中から企業幹部, アカデミア, 医師等が参加する。米国の団体が主催しており, 毎年世界各地で開催地を変えて開催され, 本年はテルアビブで開催。

<https://www.globalwellnesssummit.com/2020-global-wellness-summit/>

延期！開催時期未定！ **モバイル** **ISRAEL MOBILE SUMMIT 2020**
(2020 年 10～12 月, テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他に, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には 1 対 1 ミーティングもセッティングされる。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2019（2020 年 11 月（日付未定）, テルアビブ）

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で 8 回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

UX UX SALON 2020（2020 年秋, テルアビブ）

UX デザイナーによるコミュニティである UX Salon の年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

スタートアップ 2021 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT （2021 年 3 月 4 日, エルサレム）

エルサレムのクラウドファンディング型 VC である OurCrowd による年次イベント。OurCrowd の投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2019 年は 186 か国から 23,000 人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

本年中止 **サイバーセキュリティ** CYBERWEEK（2021 年 6 月 20～6 月 24 日, テルアビブ）

テルアビブ大学が主催するサイバーセキュリティに関する大規模イベント。一週間にわたり、メイン会場での学術会議に加え、ラウンドテーブルやパネルディスカッションなど多様なサイドイベントが開催される。

<https://cyberweek.tau.ac.il/>

建設・不動産 TLV CONSTECH & PROPTECH 2020 WEEK（時期未定）

建設・不動産技術に関するセミナー・展示会・野外デモンストレーションイベント。イスラエル輸出国際協力機構と経済産業省が主催し、今回初開催。希望者には B2B ミーティングも設定される。

<https://tlvconprop.com/>

デジタルヘルス **DIGITAL HEALTH.IL**（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シェバメディカルセンターイノベーションセンター）, Israel Advanced Technology Industries が主催。過去 5 年では、毎回 700 名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

アクセシビリティ **ACCESS ISRAEL'S 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON THE FUTURE OF ACCESSIBILITY**（時期未定）

障がい者や高齢者にとってのアクセシビリティ向上を目指す NPO が主催する国際カンファレンス。

<https://aisraelcon.org/en/>

エレクトロニクス **NEW TECH 2020 EXHIBITION**（時期未定）

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150 社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

光学 **OPTO TECH 2020**（時期未定）

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

インダストリー 4.0 **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY**（時期未定）

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー 4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

エドテック ISRAEL EDUCATION SUMMIT 2020（時期未定）

エドテックに関する国際カンファレンス・展示会。世界 20 か国から参加者があり、今回 4 回目の開催。

<https://www.ies-summit.org/>

イノベーション LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね 1 週間のプログラムで、個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトをご覧ください。

NEW! COVID19 WEBINAR: コロナ禍におけるイスラエル企業との 協業の可能性（5月12日、21日、オンライン）

イスラエルのヘルツォグ・フォックス&ニールマン法律事務所が、ジェトロ・テルアビブ事務所後援のもと、駐日イスラエル大使館経済部、ジェトロ・テルアビブ、デロイトイスラエル、TMI 総合法律事務所からそれぞれ専門家を招き、日本企業とイスラエル企業の協業についてビジネス、法務の観点から解説を行う。

<https://israel-keizai.org/wp/wp-content/uploads/2020/04/JAPAN-Israel-Webinar.pdf>